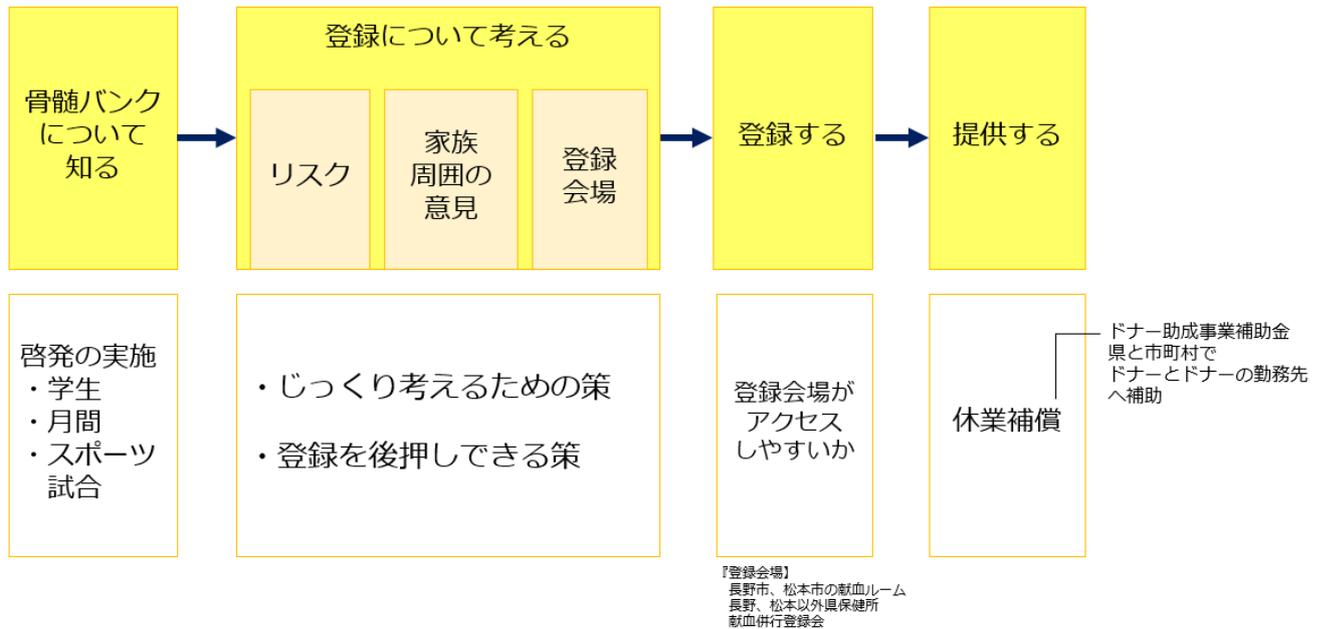


長野県の取組について

令和 6 年 12 月 23 日
保健・疾病対策課

1 ドナー登録から提供までの流れと取組

「ドナー登録から提供までの流れ」と「そのタイミングに対応した取組」は以下の図のとおり。



2 骨髄バンクについて知ってもらう取組（啓発）

(1) 高校生向けチラシの配布

- 令和 6 年 1 月末に、高校卒業生向けの啓発チラシ（ギフトオブライフ）を県内すべての高校に配布。（17,460 枚）
- 語り部派遣に関する案内（県ホームページ URL）を県内すべての高校に通知。

(2) 骨髄バンク推進月間（10 月）における啓発

- 普及啓発ポスター・チラシの配布

▼配布先：市町村、教育機関、金融機関、医療機関、大型商業施設、郵便局、コンビニ等

▼配布物：

主な配布物	令和 5 年 10 月	令和 6 年 10 月
ポスター	249 枚	239 枚
チャンス	775 部	630 部
ギフトオブライフ	394 部	360 部
壁新聞	16 部	21 部
マンガ	10 部	35 個
県作成チラシ	9,963 枚	1,753 部

- 防災無線等無線放送、ケーブルテレビ等有線放送による登録呼掛け（市町村）
- 広報誌、ホームページ等への掲載（県、市町村）

- ・ 骨髄バンク啓発コーナーの設置（保健福祉事務所）
- ・ 県職員向けに、合同庁舎の庁内放送にてドナー登録の呼びかけ

(3) 県内プロサッカーチームのホームゲームでの啓発

- ・ 令和5年10月8日（日）、令和6年7月13日（土）の長野パルセイロホームゲームで啓発

※薬事管理課（献血担当）との同時開催

- ▼観戦者パンフレットへ同封し、ドナー登録啓発チラシを配布(3,000枚)
- ▼場内アナウンス、大型ビジョンでの啓発
- ▼来場者への啓発ポケットティッシュの配布
- ▼ドナー登録説明員による登録会（令和5年：2名、令和6年1名が登録）

3 骨髄バンク登録について考えてもらう取組

(1) WEB広告の実施（令和5年10月）

- ・ ドナー登録について、じっくり考えてもらうことを目指した、WEB広告を実施。
- ・ ターゲット：18歳～44歳
- ・ 表示数等

媒体	表示数	クリック数
Yahoo	3,733,276回	16,124回
Google	972,112回	6,686回
Facebook (Instagram)	133,137回	718回
Twitter (現X)	812,643回	889回
合計	5,651,168回	24,417回

※クリックをすると詳細の記載された特設ホームページへ移動する

▼広告バナー：メッセージを変え複数表示



- ・ R5.10の登録者数44名（R4.10：38名）

(2) 登録を後押しするインセンティブの企画

①信州ブレイブウォリアーズ（信州BW）のホームゲームの登録会で選手サインをプレゼント

- ・ 令和6年12月8日の信州BWのホームゲームで献血に併行し、骨髄バンクのドナー登録会を開催。※薬事管理課（献血担当）との同時開催
- ・ 登録者には選手サインをプレゼントする企画を実施。
- ・ 結果：11名の登録（16名へ説明、5名は健康上の問題等で登録できず）

②献血ルームや保健所での登録者に信州BWの選手サインをプレゼント

- ・ 令和6年12月9日以降に、献血ルーム、保健所での登録者に選手サインをプレゼントする企画を実施。
- ・ 途中経過：2名の登録
(開始1週間の令和6年12月16日現在)



4 登録に関する取組

(1) 保健所での登録受付の実施

- ・ 県では献血ルームのない地域の8保健所においてドナー登録の受付を行っている。
- ・ 令和5年度は51名の登録
- ・ 令和6年度は21名の登録 (令和6年11月30日現在)

5 骨髄提供に向けた取組

(1) 長野県骨髄バンクドナー助成事業補助金

- ・ 令和元年度から市町村と共同で実施

	R1	R2	R3	R4	R5	R6.10末
提供者数※1	14人	25人	20人	21人	23人	9人
補助実績※2 (本人)	5人	16人	14人	17人	22人	10人
補助実績 (事業所)	3カ所	9カ所	6カ所	9カ所	7カ所	3カ所

※1：日本骨髄バンク資料から。

※2：市町村から県への申請件数を計上。前年度提供者が翌年度に申請することもあるため、提供者数を上回る場合がある。

(2) 企業への補助金や休暇制度についての周知

- ・ 産業労働部労働雇用課労働環境係に、職場環境改善アドバイザーが企業等へ訪問する際に、補助金や休暇制度を周知するチラシの配布をいただけるように検討を進めている。

6 その他

(1) 登録者数が多い他県へ取り組み内容を照会

登録者数の多い都道府県（比較的県土が広く長野県と地理的要件が近い県含む）に対し、聞き取り調査を行ったが、他県の担当者としても、特に他県に比べ特別な取組をしている認識が無いとのこと

【他県で実施していることの例】

- ・ 病院の医師等の県民向けの講座を開催
- ・ 献血車での併行登録会の開催
- ・ 啓発

等